

平成22年度第5回丸子地域協議会会議次第

平成22年8月18日(水)午後1時30分

丸子地域自治センター3階第2会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 第1次上田市総合計画・地域まちづくり方針の見直しについて

4 報 告

(1) 丸子郷土博物館改革の実施について

5 その他

(1) うえだ地域づくりコーディネーター養成講座開催について

(2) 表彰審査委員の選任について

(3) 次回会議の開催日について

【予定】平成22年9月 日 () 午後1時30分

丸子地域自治センター

(4) その他

※地域の課題などについて、複数のグループに分かれて分散会を行います。

6 閉 会

平成22年8月18日
丸子地域協議会資料
社会教育課

丸子郷土博物館の法登録の解除について

- 1、内容 博物館法第2条による登録を解除。「登録博物館」から「博物館相当施設」に移行。
- 2、理由

《背景》

丸子郷土博物館は、その立地の悪さから、開館当初から集客に苦勞してきた経過を持つ。合併後も経費(年間約750万円H22からは600万前後)に対し、入館者が(H18)2,252人、(H21)921人と右肩下がり、監査時や行政改革、財政当局などからの指摘を受けてきたが、登録博物館であることは、改革の手かせ足かせとなることから、今回解除申請。

《理由》

登録博物館になると、①館長・学芸員・職員の確保、②年間150日以上の開館、③資料の整備、④土地建物の整備などが義務付けされるが、これまで登録によるメリット(1)寄附者の税制上のメリット、(2)税の優遇、(3)補助金の享受などは全く受けてこなかった。今後もそれらのメリットを享受する見込みは薄く、観光事業などとの連携を進める場合にはかえって障害になることも予想されることから、登録博物館を返上し、「博物館相当施設」として活用を図る。

関係機関への負担金等も不用になる。
- 3、手続き 丸子郷土博物館は、旧丸子町の町制施行70周年記念施設として建設された経過を持つ。そのため、丸子地域協議会への報告、博物館協議会への協議、教育委員会への協議と、所定の手続きを経た上で解除申請を県教育委員会に上げていく。
- 4、留意点 登録博物館でなくなることでの市条例改正・規則改正は不用。市条例上の博物館施設でなくなるわけではない。(類似施設に以降の場合は廃止条例必要)
- 5、用語解説 《インターネットに掲載されている用語内容》

【登録博物館】

地方公共団体、社団法人、宗教法人、日本赤十字社と日本放送協会が設置した施設で、都道府県教育委員会の審査を受けたもの。国立博物館や独立行政法人立博物館は登録博物館になれない。(なお、2006年には国立博物館も独法化された。)資料の整備、館長・学芸員・職員の確保、土地・建物の確保、年間150日以上の開館などが定められている。

手続きが非常に煩雑なため、要件を満たしていても登録しない博物館も多い。また公立の登録博物館の場合、管轄は教育委員会となるので、行政が教育や観光事業などと連携して運営したい場合、登録しない場合がある。

登録博物館になるメリットとしては、資料を登録博物館に寄附すると、寄附者が税制上の優遇措置を受けることができるために寄附をされやすいことや、不動産取得税・固定資産税・都市計画税などが優遇されることなどがある。また、公立の博物館は補助金を受けることができる。事業に参加したり助成制度を受けたりする条件として、登録博物館であることが挙げられていることがある。

【博物館相当施設】

登録博物館の要件は満たしていないものの、一定の要件を満たしている施設で、文部科学大臣あるいは都道府県教育委員会の指定を受けたもの。事業に参加したり、助成制度を受けたりする条件として、博物館相当施設であることが挙げられていることがある。

【博物館類似施設】

上記2施設以外で、博物館法に定められた博物館と同種の事業を行う施設。つまり博物館法の適用外の施設である。ほとんどの博物館はこの類似施設。

【統計上把握されていない博物館】

統計上把握されていない博物館。個人博物館等。

	種別	設置主体	設置要件	備考
	登録博物館	地方公共団体 民法法人 宗教法人 政令指定法人	館長・学芸員必置 年150日以上開館 教委所管 (地方公共団体の場合)	法上の館
市立博物館 丸子郷土博物館	博物館 相当施設	制限無し	学芸員相当職員必置 (資格不要) 年100日以上開館	法上の館
武石ともしび博物館 信濃国分寺資料館 ほか多数	博物館 類似施設	制限無し	制限無し	法に基づかない
絹糸紡績資料館 ほか多数	統計上把握 されていない館	制限無し	制限無し	法に基づかない

22 まち第 162 号
平成 22 年 8 月 11 日

地域協議会委員 各位

まちづくり協働課長

「地域づくりコーディネーター養成講座」開催のお知らせ

暑さますます厳しくしのぎがたい毎日が続いておりますが、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

上田市では地域内分権と市民協働のまちづくりを推進するため、皆さんの自発的・主体的な地域活動を支援していますが、相談やアドバイスができ地域づくりをサポートする人材の育成を目的に、「コーディネーター養成講座（全 10 回）」を計画いたしました。

今後、皆さんの地域でご活用いただくための講座（下記参照）となっていますので、役員の皆さんやお知り合いに興味をお持ちの方にも声をかけていただければと思います。ご参加お待ちしております。

また、養成講座の開講に先立ち、まちづくりに参画いただく契機として、参加者の募集を兼ねて広く市民の皆さんに関心を持っていただくため、キックオフフォーラム 2010「まちづくり講演会（特別講座）」を計画しましたので、別紙のとおりご案内申し上げます。

記

地域づくりコーディネーター養成講座 日程表

回数	日程	曜日	時間	場所	内容	講師
特別講座	8月28日	土	14:00～15:30	長野大学 リプロホール	協働によるまちづくり	セーラ・マリ・カミングス
第 1 回	9月9日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室(上田駅前ビル)	開校式	河野 良治
第 2 回	10月9日	土	13:30～16:30	長野大学 講義室	ファシリテーション入門	谷 益美
第 3 回	10月14日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室	地域における参加と協働	久保木 匡介
第 4 回	11月11日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室	上田市のまちづくり活動	河野 良治
第 5 回	11月20日	土	13:30～16:30	長野大学 講義室	地域の実例	泉 英明
第 6 回	12月9日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室	プレゼンテーション概論	河野 良治
第 7 回	1月13日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室	全国のまちづくり活動	河野 良治
第 8 回	1月22日	土	13:30～16:30	長野大学 講義室	限界集落とまちづくり	大野 晃
第 9 回	2月10日	木	18:30～20:30	パレオ2階 会議室	課題解決のためのワークショップ	河野 良治
第 10 回	3月12日	土	13:30～16:30	パレオ2階 会議室	成果発表会、終了証の授与	河野 良治

敬称略

○参加費:養成講座は資料代として 3,000 円(10 回分)が必要です。(特別講座は無料)

○申込:所定の申込用紙に必要事項を記入のうえお申込下さい。

:用紙は初回特別講座会場にご用意します。また、まちづくり協働課、各地域自治センター及び市ホームページで8月16日以降配置します。

○締切:9月6日(月)必着 ※途中の講座のみの参加はできません。

まちづくり協働課 担当:堀内 ☎22-4100 (内線 1703)

まちづくり講演会



うえた地域づくりコーディネーター養成特別講座

キック・オフ・フォーラム 2010



～これからの地域づくりを、みんなの力で！～

平成 22 年

(13:30開場)

8月28日土 14:00 ～ 15:30

長野大学リブロホール 入場無料

長野県上田市下之郷658-1

全席自由/定員250人 申込不要

プログラム

プロローグ 長野大学准教授 河野良治先生

講演 演題:「協働によるまちづくり」
講師: セーラ・マリ・カミングスさん

講師プロフィール

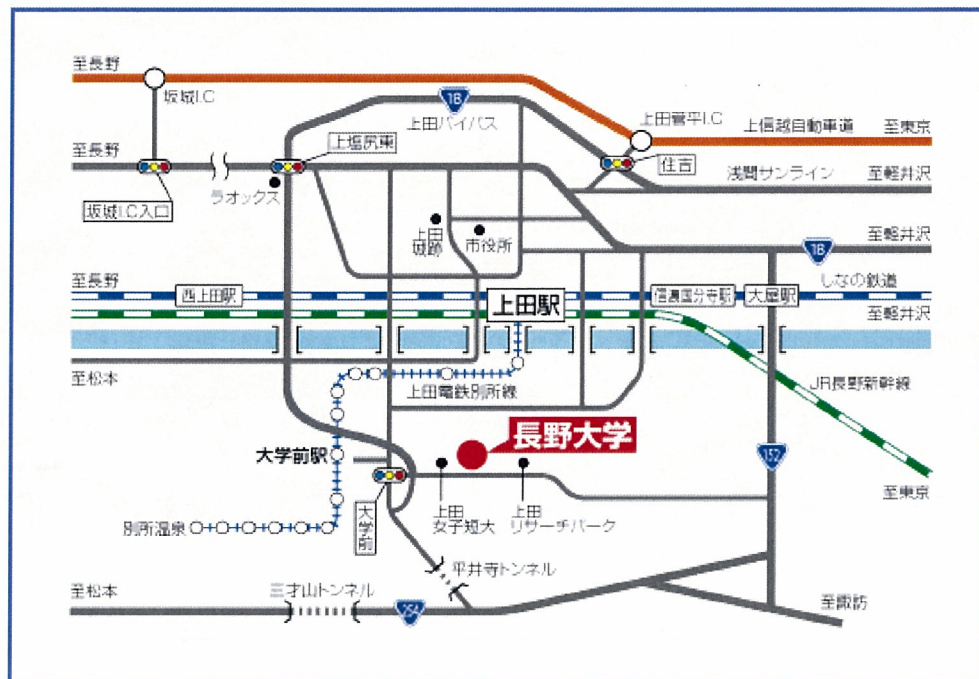
利酒師。(株)榊一市村酒造場代表取締役。ペンシルベニア州立大学卒業後、(株)小布施堂に入社。長野オリンピックの英国選手団アシスタント・オリンピック・アタッシュ(民間特命大使)として活躍。地域とともに歩む活動が評価され、日経ウーマン誌が選ぶ「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2002」大賞受賞。「小布施セッション」と呼ばれる文化サロンや「小布施見にマラソン」を開催するなど、数々のまちおこし事業を展開中。観光で訪れる方だけでなく、地元の人のために地元の良さを気づかせてくれるそんなセーラさんです。



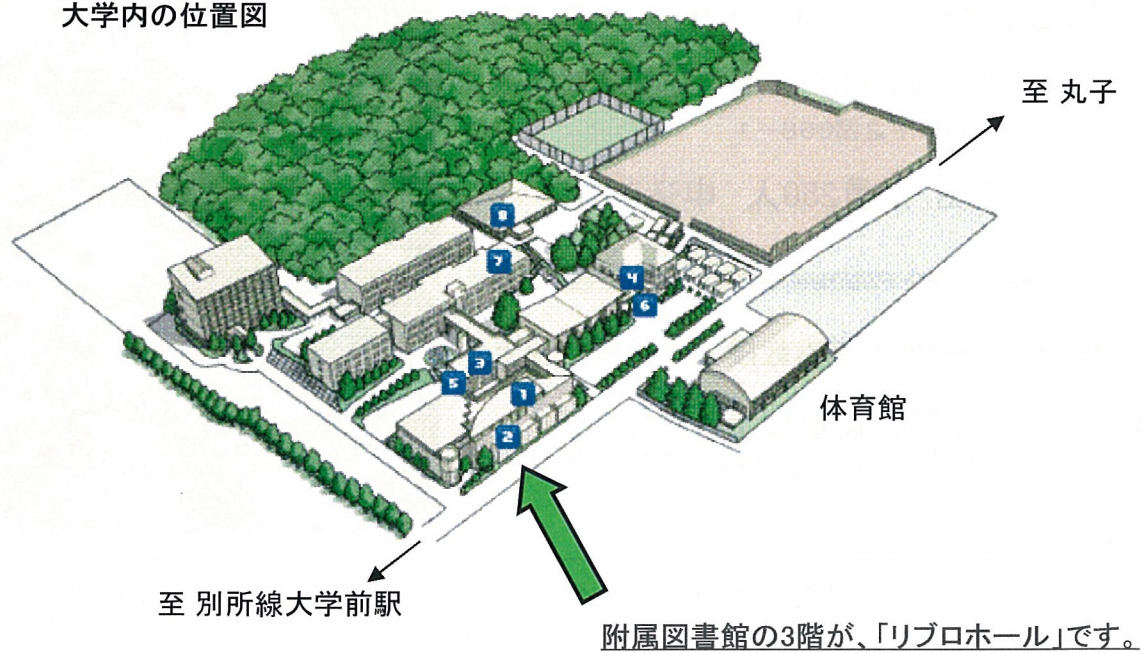
主催:  上田市 共催: 長野大学

問合せ: 上田市政策企画局まちづくり協働課
☎0268-22-4100 内線1352

会場案内図



大学内の位置図



地域づくりコーディネーター養成講座実施要領

I 趣旨・目的

新生上田市のまちづくりの基本理念である地域内分権と市民協働を推進するため、地域活動(地域や市民が自ら地域を元気にし、魅力あるまちや特色を生かした地域づくりを行っていく取組)に対し、相談やアドバイスなど、地域活動をコーディネートする地域人材の育成を図る。

II 事業概要

1 主催 上田市

2 共催 長野大学

3 実施方法

- (1) 上田市と市内4大学との包括連携協定に基づき、産(地域)・学・官の連携事業として長野大学に委託(随意契約)し、人材養成講座を開催する。
- (2) 3カ年の継続実施(参加者100人程度)を視野に、初年度は市民に広く協働によるまちづくりへの関心と参画を呼びかけるフォーラムと養成講座を開催する。
- (3) 行政からお仕着せの市民協働にならないよう留意し、市民の自発的なまちづくり活動を推進・支援する観点から、地域づくりコーディネーターに必要なスキルの習得に主眼を置いた講座とする。
- (4) 地域づくりコーディネーターの実践(活用)に向けた体制づくり(登録・斡旋・フォローアップ)を合せて進めていく。

III 事業内容

1 キック・オフ・フォーラム(オープンキャンパス)

養成講座の参加者募集を兼ねて、広く市民の関心を得られるよう、「協働によるまちづくり」をテーマとした基調講演や、まちづくりの原点となる上田市の魅力を再確認するワークショップを開催。

(1) 日程

平成22年8月28日(土)

(2) 会場

長野大学

(3) その他

- ・広報うえだ(8月1日号)及び各種媒体を通じ参加者を募集する
- ・参加費は無料、参加自由(対象者を限定しない)とする
- ・参加者のうち希望者には養成講座の案内を送付する

2 地域づくりコーディネーター養成講座

(1) 日程

9月から3月まで、毎月第2木曜日、午後6時30分～8時30分

(9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10 の7回＋2回程度の追加講座)

(2) 会場

上田駅前ビルパレオ2階会議室又は長野大学

(3) その他

- ・キック・オフ・フォーラム参加者に開催案内を送付するほか、広報うえだ(8月16日号)及び各種媒体を通じ参加者を募集する
- ・参加費:3,000円(資料代等)ただし学生は無料とする
- ・対象者:市内在住又は在勤・在学の18歳以上
- ・定員:30人

3 業務委託

(1) 委託業務内容

- ①カリキュラム作成
- ②講師の手配
- ③レジュメ、教材等の作成
- ④キック・オフ・フォーラム及び養成講座の実施
- ⑤参加費の徴収
- ⑥会場の手配(長野大学の施設を使用する場合)

(2) 委託料

50万円(税込み)

(3) 業務スケジュール

- ①委託契約 7月上旬(関係予算は6月補正予算に計上)
- ②キック・オフ・フォーラム内容決定 7月中旬まで
- ③養成講座の内容決定 7月下旬まで
- ④8月から3月にかけてキック・オフ・フォーラム及び養成講座を開催
- ⑤実績報告 3月下旬

平成22年8月18日
丸子地域協議会資料
(政策企画局政策企画課)

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて

1 第一次上田市総合計画の構成

別紙資料（第一次上田市総合計画概要版）

2 地域まちづくり方針の検証と見直しについて

- ・ 第一次上田市総合計画では、「地域まちづくり方針」の計画期間を8年とし、基本計画の目標年度（23年度）に合わせて見直しも検討することとしている。
- ・ 「地域まちづくり方針」に沿った施策の進捗状況等について評価・検証を行った上で、どの部分を見直す必要があるのか、どのように見直すのかについて論議をお願いしたい。
- ・ 見直しに当たっての諮問は、地域自治センター条例第7条に定める「地域協議会の対象地区に係る重要事項の決定又は変更」事項として、次回の地域協議会で諮問したい。

3 地域別懇談会の開催について

- ・ 各地域別の懇談会での意見を「地域まちづくり方針」の見直しに反映させるため、地域協議会と共催として開催したい。地域協議会委員のみなさまにもできる限り、市民の意見をお聴きする立場でご参加をお願いしたい。

4 今後のスケジュールについて

- ・ 諮問時期：9月の各地域協議会
- ・ 地域別懇談会（市内9箇所：10月中旬から11月中旬）
広報、有線放送、行政チャンネル、報道機関を通じて開催告知
- ・ 答申時期：来年3月の各地域協議会
- ・ 後期基本計画を審議する総合計画審議会は10月中旬に設置し、平成23年3月に素案の答申予定。
- ・ 各地域協議会からも総合計画審議会委員として参画を依頼予定。

政策企画課 23-5112
課長：岡田、担当：近藤、橋詰

養成講座申込用紙

区 分 (○してください)	一般	自治会関係者	大学生
ふりがな			
氏 名	男 ・ 女		
郵便番号			
住 所			
電 話			
受付番号			

----- きりと -----

地域づくりコーディネーター養成講座 日程表

回数	日程	曜日	時間	内容	講師	場所
第 1 回	9 月 9 日	木	18:30～20:30	開校式	河野 良治	パレオ2階(上田駅前ビル)
第 2 回	10 月 9 日	土	13:30～16:30	ファンリテーション入門	谷 益美	長野大学
第 3 回	10 月 14 日	木	18:30～20:30	地域における参加と協働	久保木 匡介	パレオ2階
第 4 回	11 月 11 日	木	18:30～20:30	上田市のまちづくり活動	河野 良治	パレオ2階
第 5 回	11 月 20 日	土	13:30～16:30	地域の実例	泉 英明	長野大学
第 6 回	12 月 9 日	木	18:30～20:30	プレゼンテーション概論	河野 良治	パレオ2階
第 7 回	1 月 13 日	木	18:30～20:30	全国のまちづくり活動	河野 良治	パレオ2階
第 8 回	1 月 22 日	土	13:30～16:30	限界集落とまちづくり	大野 晃	長野大学
第 9 回	2 月 10 日	木	18:30～20:30	課題解決のためのワークショップ	河野 良治	パレオ2階
第 10 回	3 月 12 日	土	13:30～16:30	成果発表会、終了証の授与	河野 良治	パレオ2階

敬称略

- 参 加 費 : 資料代 3,000円(10回分)です。お申し込み後、改めて振込通知書をお送りいたします。(なお、学生は無料です。)
- 申 込 締 切 : 9月6日(月)必着、まちづくり協働課まで。 ※途中の講座のみの参加はできません。
- 講 師 紹 介 : 河野 良治氏 長野大学企業情報学部准教授 専門:地域イノベーション論
 : 谷 益美氏 生涯学習開発財団認定コーチ モデレーター
 : 久保木 匡介氏 長野大学環境ツーリズム学部准教授 専門:地方自治論
 : 泉 英明氏 (有)ハートビートプラン代表 政策プランナー
 : 大野 晃氏 長野大学環境ツーリズム学部教授 専門:環境政策論
- 対 象 者 : 上田市に在住か在勤(在学)者で、これからまちづくり・地域づくりに参画したい方、興味をお持ちの方などなたでも参加が可能です。

お問合せ

〒386-8601 上田市大手1-11-16 上田市役所まちづくり協働課 ☎0268-22-4100(内線1703)
 〒386-1298 上田市下之郷658-1 長野大学地域連携センター ☎0268-39-0005(直通)

平成22年度 予定表(案)

	9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	水		金		月		水		土	元旦	火		火		1
2	木	1日会議	土		火		木		日		水		水		2
3	金		日		水	文化の日	金		月		木		木		3
4	土		月		木		土		火	自治連正副会長会	金		金		4
5	日		火		金		日		水		土		土		5
6	月	1日会議	水		土		月		木		日		日		6
7	火	1日会議	木		日		火		金		月		月		7
8	水	1日会議	金	自治連三者懇談会	月		水		土		火		火		8
9	木		土		火		木		日		水		水		9
10	金		日		水		金		月	成人の日	木		木		10
11	土		月	体育の日 体育祭	木		土		火		金	建国記念の日	金		11
12	日		火		金	自治連定例役員 会(真田)	日		水		土		土		12
13	月	各課長会議	水		土		月		木		日		日		13
14	火	各課長会議	木		日		火		金		月		月		14
15	水	各課長会議	金	自治連定例役員 会(丸子)	月		水		土		火		火		15
16	木	各課長会議	土		火		木		日		水		水		16
17	金	自治連定例役員 会(上田)	日		水		金	自治連定例役員 会(上田)	月		木		木		17
18	土	産業フェスタ	月		木		土		火		金		金		18
19	日	産業フェスタ	火	シルキーフォーラム	金	1日会議	日		水		土		土		19
20	月	敬老の日	水		土		月		木		日		日		20
21	火		木		日		火		金		月		月	春分の日	21
22	水		金		月		水		土		火		火		22
23	木	秋分の日	土		火	勤労感謝の日	木	天皇誕生日	日		水		水		23
24	金	部長会 部課長連絡会	日		水		金		月		木		木		24
25	土		月		木		土		火		金		金		25
26	日	国際交流フェスティバル	火		金		日		水		土		土		26
27	月		水		土		月		木		日		日		27
28	火	1日会議	木		日		火	自治連正副会長会	金		月		月		28
29	水		金		月		水		土				火		29
30	木		土		火		木		日				水		30
31			日				金		月				木		31

平成22年度 丸子地域協議会委員名簿

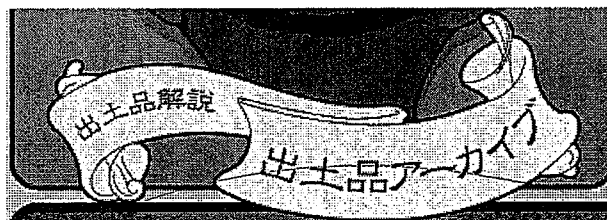
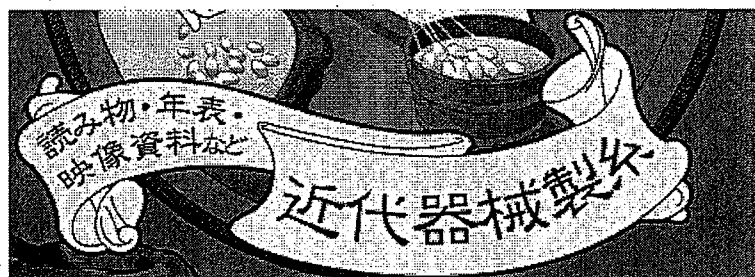
(敬称略)

	役職名	氏 名	自治会名	選出団体等
1	委員	生田 淳一	西 内	丸子町商工会
2	委員	池内 孝一	上長瀬	長瀬地区自治会連合会
3	委員	上原 正志	八日町	丸子第一自治会連合会
4	委員	内田 弘子	腰 越	丸子ボランティア連絡協議会
5	副会長	北村 好美	南 方	公募
6	委員	倉沢 史子	中丸子	個人依頼
7	委員	上坂 耕司	荻 窪	内村地区自治会連合会
8	会長	斉藤重一郎	西 内	個人依頼
9	委員	佐藤 誠一	中丸子	丸子第二自治会連合会
10	委員	清水 三枝	御嶽堂	丸子地域消費者の会
11	委員	関 與康	狐 塚	塩川地区自治会連合会
12	委員	滝澤 芳則	南 方	依田窪地域連絡協議会
13	委員	中澤ゆかる	八日町	丸子地域PTA連合会
14	委員	成澤 啓輔	中丸子	個人依頼
15	委員	松山 慶子	中丸子	公募
16	委員	丸山かず子	下和子	丸子女性団体連絡協議会
17	委員	宮下 正明	下長瀬	丸子工業振興会
18	委員	村松 正孝	下長瀬	個人依頼
19	委員	山越 健二	茂 沢	依田地区自治会連合会
20	委員	横山 智美	腰 越	手をつなぐ育成会

《丸子郷土博物館の概要》

1、建設・構造・延床面積	建設=昭和58年(26年経過)RC2階建 延床面積=921.02m ² 建物は旧・丸子町役場のイメージ R254号線(松本方面、丸子方面)より正面に見える工夫
2、職員	館長1(兼務=社会教育課長・丸子公民館長・丸子文化会館長) 臨時職員2 ※博物館法の登録博物館。必置の館長・学芸員は兼務。
3、収支(H21)	【収入】 91,850円…入館料、書籍販売 【支出】6,960,853円…人件費、維持費
4、展示	【常設展示】 1階…考古を中心とする依田窪地方の歴史 県宝・鳥羽山洞窟遺跡出土遺物ほか ※資料添付 2階…丸子の近代器械製糸の盛衰 日本最古のアメリカ向け宣伝映画フィルム所蔵で有名 資料提供=国立歴史民俗博物館(佐倉)、電通博物館(築地) 慶応大学「未来を開く福沢諭吉展」ほか 上田市ホームページ「デジタルアーカイブ丸子郷土博物館」で映像展示、公開 ※資料添付 【特別展示】 ①全館を使うもの ②特別展示室を使うもの 【展示のコンセプト】 ジオラマ(立体模型)を使った固定展示は避け、展示替えし易く =開館に際しての展示企画委員会の方向 (当時の委員…国学院大学加藤有次、県教委関孝一氏ほか)
5、収蔵資料	4本の柱 ①大正2年開館「丸子陳列館」資料 ②昭和40年代以降学術・緊急発掘調査考古資料 ③丸子の近代器械製糸資料(博物館開館時収集) ④横山コレクション美術資料(189点、評価参考額2億7,276万円)
6、課題	①立地が悪い ②来館者が少ない ※小規模館単独では限界 ※過去の特別展…主要なもの (1)Ⅰ期 学芸員竹内一徳(兼務) 「中国の歴史遺物」愛知県陶磁資料館、出光美術館、国学院大学考古資料館、五島美術館、富士美術館、県教委ほか県下各教育委員会・博物館より資料借用 「朝鮮半島の歴史遺物」五島美術館、国学院大学、信濃美術館、県教委、松本城管理事務所ほかより 「美濃の現代陶磁」岐阜県陶磁器陳列館(現・岐阜県陶磁資料館)より…交換展示 「古陶磁1～3」名古屋大学、愛知県陶磁資料館、岐阜県陶磁器陳列館、瀬戸市・常滑市・有田町教委、五島美術館、寺井九谷焼資料館ほか (2)Ⅱ期 学芸員滝沢敬一(専任) 「中国伝統美術展」和田美術館 「アンデス黄金発掘展」和田美術館、東大アンデス文明調査団 「兵馬俑展」和田美術館…中止 (3)Ⅲ期 学芸員滝沢敬一(兼任) 「地域の写真展」等

Ueda City Maruko Cultural Museum 上田市立丸子郷土博物館



<市ホームページ>

博物館・美術館

→ 丸子郷土博物館

→ デジタルアーカイブ「丸子郷土博物館」

アクセス



Ueda Digital Museum Network

丸子の博物館 資料を積極的に公開。

これまで、知っている人は少数いる ～ 隠れた名所 ～ 3枚目 日本最古のPRフィルム

映像の一部を公開

↓
フィルム資料 個人蔵 → H18 全7巻贈与 (遺族より) 2010/06/22

上田市立
丸子郷土博物館

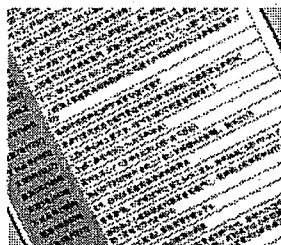
近代器械製糸

丸子町の文化発展の礎となったともいえる養蚕と製糸業。しかし昭和四年のニューヨーク株式市場の大暴落をきっかけとして始まった世界恐慌は、アメリカ市場に依存していた日本の製糸業にまで打撃を与えます。こうした中で 製糸工場は次々と軍需工場に転用され、ここに生糸の町といわれた丸子の製糸工場は、ほとんど姿を消すこととなりました。



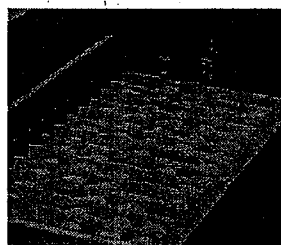
丸子地区の養蚕業

養蚕・製糸業とともに発展した丸子町(現上田丸子地区)。製糸業の発達により、製糸家のみならず、地域全体がうるおうこととなりました。街は活気に満ち、生糸の取引を通じ交流のあった横浜やアメリカの文化が直接もたらされました。
丸子地区の養蚕業へ》



養蚕年表

養蚕業の歴史を年表としてまとめました。三世紀に百済(くだら)よりもたらされた養蚕及び絹織物の技術は、その後、信濃国へも伝えられ、平安時代には、糸・絹の納入国として「延喜式(えんぎしき)」に記載されるまでになります。
養蚕年表へ》



映像「丸子町の養蚕業」

丸子町で最後の養蚕農家として、中村千昭さん、つねよさんが春蚕(はるご)を育てた1ヶ月の記録です。映像収録は株式会社丸子テレビ放送が行い、「最後のお蚕さん」として放送した映像をもとにアーカイブ化しました。
映像「丸子町の養蚕業」へ》



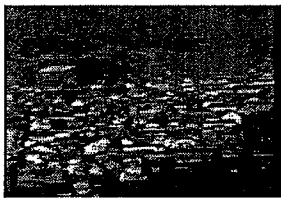
「依田社」日本最古のPRフィルム

米国向けに制作した宣伝映画の一部と思われるフィルムです。依田社の品質をPRするためのものと、女子工員を集めるために見せたとと思われるデモンストレーション用のフィルムがあります。
「依田社」日本最古のPRフィルムへ》

上田市立
丸子郷土博物館

「依田社」日本最古のPRフィルム

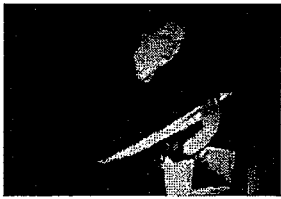
見つかった現存最古のPR用フィルム



長野県小県(ちいさがた)郡丸子町、幅二キロ、長さ五キロの狭く長い平地、山に囲まれた所というよりも、すぐ近くの山の向こうに山があり、またその向こうに山があると表現したほうがびったりだ。この丸子町は今、朝鮮人参の全国一の集積産地として有名だが、明治の終わってから昭和の初めまでは製糸の町として、日本国内はもとより、アメリカにまでその名を知られていた。

丸子町の製糸会社・依田社は、全盛期だった大正時代にアメリカから技師を招いて会社の宣伝用フィルムを作っている。「依田社の記録」は、現存する最も古いPR用フィルムと思われる。

大正時代、こういうものを作った依田社とは、明治二二年(1889)にいくつかの小さい製糸工場がひとつにまとまってできた会社だ。当時、製糸は生死ともいわれるほどの糸の価格変動が激しく、工場の経営も不安定だった。そこで、依田社が設立され、再繰所、検査、荷造り、出荷、販売などが共同に行われることとなり、各工場は安定した。結果、うまくいったことにより町全体にも大きな発展がもたらされたのだ。複数の工場をひとつの会社として組織する方法は、やはり絹業の町として知られた岡谷を手本にしたのだが、現在のフランチャイズ方式のはしりのようなものだろう。



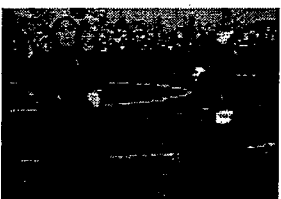
丸子町の糸に人気があったのは、依田社の組織力もさることながら、きわめて品質が良かったからである。100%アメリカへの輸出用に作られ、町が貿易でうるおったのは経済的な面だけではなかった。製糸を積み出す港の横浜を通じて今度はアメリカからの文化が直輸入され、信州の山間にあったにもかかわらず、当時はハイカラな町だった。大正一二年(一九二三)米国絹業協会会長ゴールドスミス氏が訪れたように、アメリカ人は頻りに丸子へ来ていた。依田社はそのためアメリカ人用の迎賓館「依水館」を造っている。

丸子町の製糸全盛期は、明治四〇年(1907)から昭和三年(1928)頃までで、依田社も昭和二年の大不況、続く昭和五年アメリカの大恐慌のあおりを受け、大正一一年(1922)には九〇〇〇人いた女子工員も、昭和七年(1932)四〇〇〇人にまで減っている。三六あった工場もだんだんとなくなり、昭和二〇年(1945)最後の工場が閉鎖し、かつては専属病院から模範工女養成所など付属施設を持ち、信濃ガス会社、信濃電灯会社、丸子軽便鉄道などの都市開発事業にも力を貸すほどだった依田社の、五六年の歴史が終わった。

PR用映画は依田社の景気がいい時期に、金に糸目をつけずに作ったのであろう。アメリカ向けと女子工員教育・娯楽用の二本に分かれている。

アメリカ用は英語版で「生糸が出荷されるまで」を撮影している。丸子町の遠景-繭の取引-女子工員-繰糸-検査-かせ作り-束作り、そして五種類のトレードマークであるラベルが写しだされる。これはゴルフ、テニスなどモダンな図柄で、外国受けを十分に意識していることだ。次にフィルムは、依の計量-依の袋詰め-依作り-運送と来て、ここで丸子町から横浜の小野商店へと場面が変わる。荷下ろし-荷車-横浜港からの船積みで終了。

フィルムを見ると、当時の運搬作業員は軽々と生糸の俵を何度も運んでいるが、その重さは1俵約60キロもある。また、本来なら横浜を出航の時に厳重な生糸検査のシーンが入るはずなのだが、これがない。依田社は自社検査だけで直接商社へ卸すことができたからだ。それだけ、信用が高かったということ、その分値段も高かったという。



もう一本は女子工員を集めるために見せたと思われる会社のデモンストレーション用フィルムだ。楽しい運動会がメイン。町の遠景から始まり、電車-橋-消防といった、依田社の町への貢献度を見せてから、運動会へと場面が変わる。競技は依田社を構成している各工場ごとに競っている。徒競走-授賞式-カン転がし-女子工員のダンス-仮装行列、最後に当時すでに丸子町にあったフォードの乗用車が写し出されて終わりとなる。西洋のダンスといい、フォードといい、いかにもアメリカ文化の香りを感じさせる。この運動会に次から次へと出てくるとも数え切れないほどたくさんの女子工員を見ていると、この時代に丸子町がいかに繁栄していたか一目瞭然だ。

当時女子工員は製糸労働者の九割を占め、一般には三月から一〇月



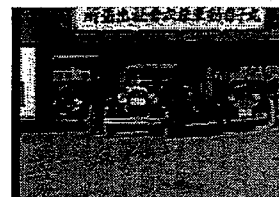
までの出稼ぎだった。彼女たちのほとんどは近くの農家の娘で、明治の終わり頃から全盛期には人手不足のために娘たちの奪い合いが起こってくる。女子工員を集めるために高価なプレゼントをしたり、アメリカから直輸入したチャップリン映画を見せたりというサービスをやっている。

映像を見たことがない人がほとんどだった時代、動いている運動会のフィルム自体も楽しいものだったろうし、知っている人が写っていればなおさらのことである。乙女心が動いたならば、PR大成功といったところだ。



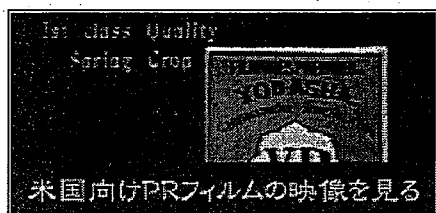
これらのPR用フィルム、内容はもちろんだが、その撮影技術の高さにも驚かされる。ストップモーション、オーバーラップ、クローズアップ、フルショットなど駆使し被写体をいろいろなアングルから撮っているのだ。一八から二四コマで撮影されていた時代、現代とあまりかわらないアクションでコマが安定している。わざわざアメリカから招いた撮影技師のテクニックが優れていたのであろうが、これらのフィルムは広告宣伝資料としても、映像的価値としても貴重なものだ。

しかし、このフィルムもあわや失われかけていたのだ。昭和五九年(1984)、現在所蔵している丸子郷土博物館に、ある旧家から三五ミリのセルロイド製フィルムが届けられた。ほとんどが赤味をおび少しの摩擦で発火する寸前だった。これらのフィルムは昭和四〇年頃まで丸子町のあちこちの家にかくらげていたらしい。セルロイドが古くなり化学変化を起こし危険物になっているとも知らず、子供たちの遊び道具だったそう。フィルムの存在は町の誰もが知っていたのだが、館に持ち込まれた映像を竹内一徳学芸員が調査するまで、その価値にだれも気がつかなかった。そのうちの一〇分の一は使用にたえられないもの。危険なので焼却処理したのだが、その炎が一〇メートル以上も燃え上がり何か異様な感じだったという。



「依田社の記録」は国立歴史民俗博物館の手によりセルロイドからビデオ・テープへと転換され、国の資料として歴史博でも所蔵している。

電通広告資料収集事務局・学芸員 中田節子著
「広告の中のニッポン」(ダイヤモンド社)より転載



« Page 1 of 3 »

1 2 3

35ミリフィルム提供: 小林一朗様(旧丸子町上丸子) 丸子郷土博物館蔵資料
協力: IPAマルチメディア研究センター

© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.



「依田社」日本最古のPRフィルム

依田社の記録(ナレーションあり)

このフィルムは、大正時代に丸子町の製糸結社依田社がアメリカ向けに制作した宣伝映画の一部と思われます。依田社は、本社再線所の中に生糸検査部(明治43年設置)を置き、再線された生糸の検査を行っていました。このフィルムの中には、生糸検査部で生糸の検査をしていると思われる場面がいくつも出てきており、当時の輸出先であるアメリカの商社に依田社の品質管理の優秀さをPRするためにつくられたフィルムであることがうかがえます。



このページの動画を再生するためには、お使いのパソコンにAdobe Flash Playerがインストールされている必要があります。動画が正しく表示されない場合は、最新のAdobe Flash Playerをインストールしてください。

1. 丸子町遠景



2. 依田社繭取引所



3. 女子工員/繰糸/再繰



4. デニール検査



5. セリブレン検査/強伸力検査



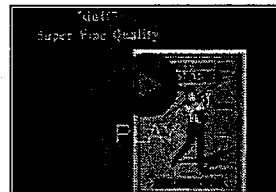
6. かせ作り/デニール検査



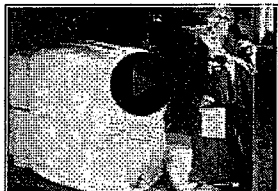
7. かつ作り



8. トレードマーク



9. 依作り/計量



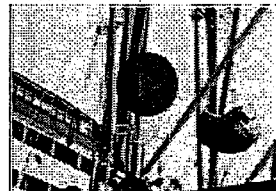
10. 出荷/横浜小野商店



11. 計量



12. 船積み



« Page 2 of 3 »

1 2 3

35ミリフィルム提供: 小林一朗様(旧丸子町土丸子) 丸子郷土博物館蔵資料
協力: IPAマルチメディア研究センター

© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.



「依田社」日本最古のPRフィルム

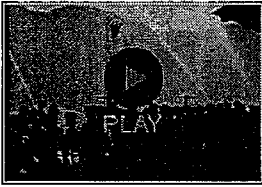
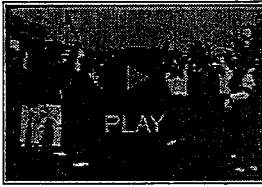
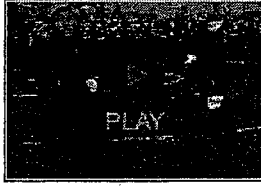
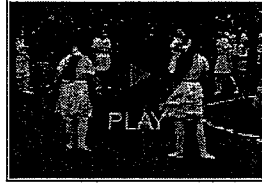
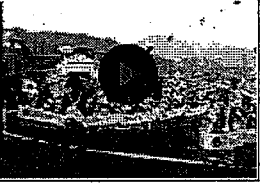
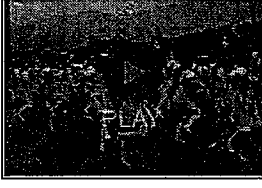
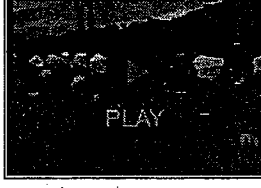
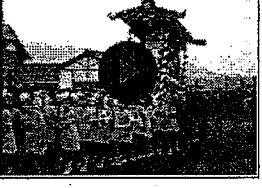
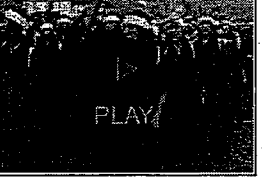
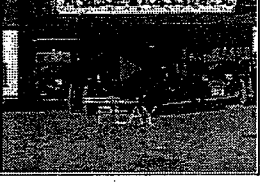
依田社連合大運動会(音声なし)

このフィルムは、大正時代に行われた依田社の各製糸場連合大運動会の様子を撮影したもので、仮装行列と遊戯の場面と思われます。

「丸子町誌歴史編」では、大正11年3月に北御牧村の二子池で、依田社各製糸場連合遠足大運動会が行われたとの記録があります。角ウ製糸場の剣舞、角ルの大漁踊、角ヲの武舎行列など、各製糸場が思い思いの出し物を披露し、大変盛況だったようです。



このページの動画を再生するためには、お使いのパソコンにAdobe Flash Playerがインストールされている必要があります。動画が正しく表示されない場合は、最新のAdobe Flash Playerをインストールしてください。

- | | | |
|---|---|--|
| 1. プロローグ
 | 2. 消防団
 | 3. 依田社総合大運動会-競技
 |
| 4. 小娘ダンス
 | 5. 遊戯-面白や
 | 6. ゴンドラダンス
 |
| 7. 熊隊運動
 | 8. ワイデーダンス
 | 9. 出雲名物-安来節
 |
| 10. 遊戯-信濃の国
 | 11. 仮装行列
 | 12. 剣舞
 |
| 13. 遊戯-赤穂義士
 | 14. 遊戯-白い花赤い花-終
 | 15. 丸子自動車(株)出張所
 |

« Page 3 of 3 »

1 2 3

35ミリフィルム提供: 小林一朗様(旧丸子町上丸子) 丸子郷土博物館蔵資料
協力: IPAマルチメディア研究センター

© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.



丸子小唄

大正初期から昭和初期にかけての丸子町は製糸工場の高い煙突が林立し、1万人に及ぶ従業員で活況を呈していた。

町の中心街には料理屋や芸妓置屋が軒を並べ、50人近い芸妓が製糸業者や生糸の買付けに訪れる客の宴席をにぎわしたものである。

そんな製糸業の全盛期、当時の新民謡運動による地方小唄ブームが背景となって、昭和3年に料芸組合が中心となり、丸子町の唄の制作に乗り出した。

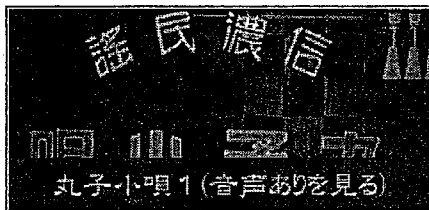
そして丸子在住の画家で、詩作や尺八にも長じている土屋泉石に依頼して出来上がったのが「丸子小唄」である。

料芸組合も今はなく、35ミリフィルムに保存してあったこの映像がどのような目的で作られたかは不明であるが、その内容からしてPR映像として撮影されたものと思われる。

(「信濃民謡紀行」創土社から一部引用、協力: 上丸子 斉藤光一郎様・IPAマルチメディア研究センター)



このページの動画を再生するためには、お使いのパソコンにAdobe Flash Playerがインストールされている必要があります。動画が正しく表示されない場合は、最新のAdobe Flash Playerをインストールしてください。



© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.



出土品アーカイブ

「考古」では古代から中世にかけての依田窪地方の様子を、各遺跡から発掘された出土品と合わせて紹介します。「出土品一覧」では博物館に収蔵されている展示物の写真を、高解像度でご覧いただけます。



本州のほぼ中央、長野県小県郡の東南に位置する丸子町・長門町・武石村・和田村は、依田川沿いにあり、通称「依田窪地方」と呼ばれています。ここでは古代から中世にかけての依田窪地方の様子と、点在する遺跡について解説します。
考古へ»



依田窪地方の遺跡からの出土品の写真を、高解像度でご覧いただくことができます。太古の昔に作られた石器の鋭さ、勾玉の表面の滑らかさ、土器の意外な意匠などから、先人たちの暮らしを感じ取れることでしょう。
出土品一覧へ»

© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.

考古

史跡鳥羽山洞窟遺跡(しせきとばやまどうくついせき)の曝葬(ばくそう)

鳥羽山洞窟は長門(ながと)町と武石(たけし)村の境界に近い丸子町腰越(こしごえ)地区にあり、武石川が依田川に合流する名勝「飛魚(とびうお)」付近の右岸に接しています。このあたりは鳥羽山の岩肌が多くみえ、その中でひととき大きな口をあけているのがこの洞窟です。洞窟の規模は幅約25メートル、奥行(おくゆき)約15メートル、高さ約15メートルもあります。

昭和41年から3か年にわたる発掘(はっくつ)調査を行い、その結果、洞窟が縄文時代から使われ、その後、5世紀中頃には古墳(こふん)を築かなかつた豪族の葬所(そうじょ)として使われていたことが明らかになりました。葬所は風葬(ふうそう)に似た特殊な葬(ほうむ)りかたをしており、この葬りかたを曝葬(ばくそう)とよぶことにしました。

この曝葬は、洞窟内に依田川の河原石を三段の石段状に敷き、その石敷きの上に屍体(しか)をのせた状態で葬っていました。このほかに、主に脛骨(けいこつ)を集めて束(たば)ねた集骨(しゅうこつ)、頭蓋骨(ずがいこつ)などを焼いた骨焼(ほねや)きも行われていたことがわかりました。さらにこれらの人骨に伴って、須恵器の二重(はそう)・カップ形土器をはじめ、琴柱形(ことじがた)石製品・石釧(いしくしろ)・鹿角装刀子(ろっかくそうとうす)などの優れた副葬品(ふくそうひん)も出土し、葬られた人びとがかなり有力な豪族であったことがうかがわれます。



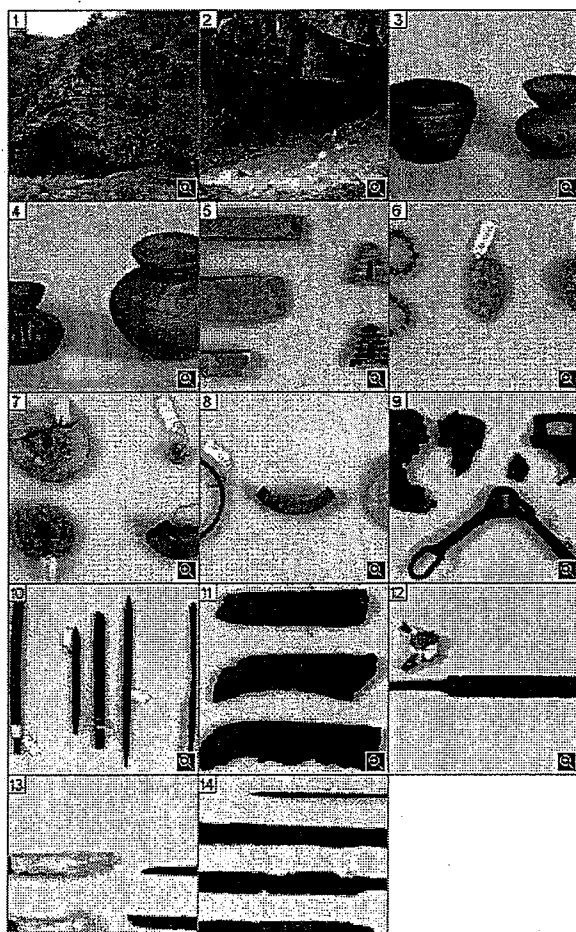
古墳時代に古墳を築かないで、独特の葬法をもっていた豪族(ごうぞく)とは、一体どのような集団であったのでしょうか。今のところ、依田窪(よだくぼ)地方ではそれをうかがうような集落の背景がみあたりませんので、おそらく外部、それも中央の先進地域から移動してきた可能性も十分考えられます。

なお、岩谷堂洞窟(いわやどうくつ)でも鳥羽山洞窟と同じく古墳時代後期(6世紀ごろ)に曝葬を行っていたことが出土遺物などから推測されています。

鳥羽山洞窟遺跡は、昭和53(1978)年に国史跡に指定され、現状保存されています。

遺物は県宝(H19~)

(全て国学院大学考古資料館
にて復元、保存修理済)



1. 鳥羽山洞窟遺跡
2. 岩谷堂洞窟遺跡
3. 把手碗(須恵器、鳥羽山洞窟遺跡)
はそう(須恵器、鳥羽山洞窟遺跡)
4. 二重(はそう)須恵器、鳥羽山洞窟遺跡
壺(須恵器、鳥羽山洞窟遺跡)
5. 砥石(鳥羽山洞窟遺跡)
琴柱形石製品(鳥羽山洞窟遺跡)
6. 滑石製小玉(鳥羽山洞窟遺跡)
滑石製勾玉(鳥羽山洞窟遺跡)
鹿角製鳴鏑(鳥羽山洞窟遺跡)
7. 鹿角製紡錘車(鳥羽山洞窟遺跡)
8. 銅釧(鳥羽山洞窟遺跡)
石釧(鳥羽山洞窟遺跡)
貝殻(ハマグリ、鳥羽山洞窟遺跡)
9. 鉄斧(鳥羽山洞窟遺跡)
馬具(轡、鳥羽山洞窟遺跡)
10. きさげ(鳥羽山洞窟遺跡)
11. 鉄鎌(鳥羽山洞窟遺跡)

« Page 6 of 6 »

[1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#)

- 12. 装刀子(鳥羽山洞窟遺跡)
- 13. 鹿角装刀子(鳥羽山洞窟遺跡)
刀子(鳥羽山洞窟遺跡)
- 14. 鉄剣(鳥羽山洞窟遺跡)

© 2008 Ueda City Multimedia Information Center All Rights Reserved.

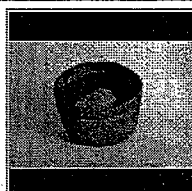
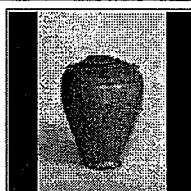
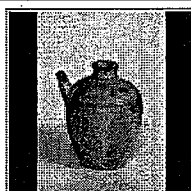
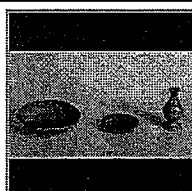
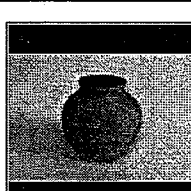
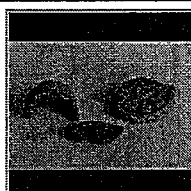
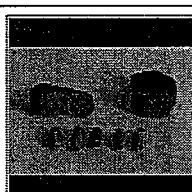
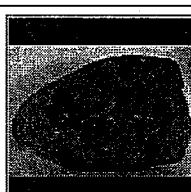
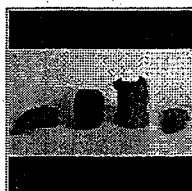
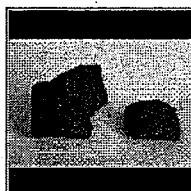
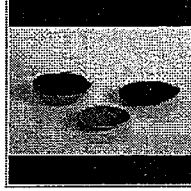


出土品一覧

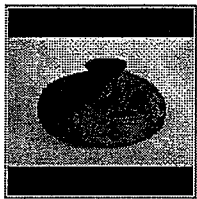
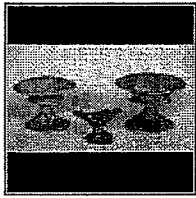
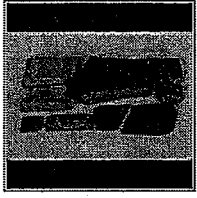
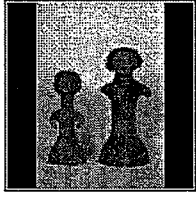
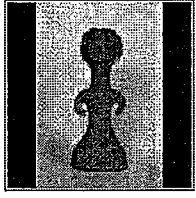
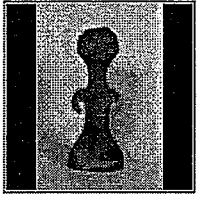
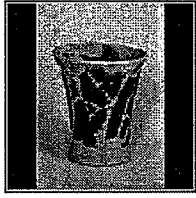
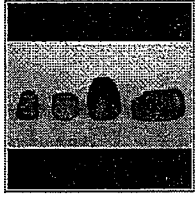
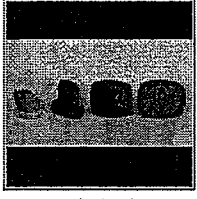
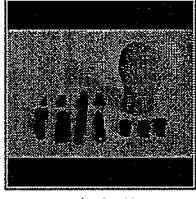
依田窪地域の遺跡から発掘された、博物館収蔵の出土品一覧です。サムネイルをクリックすると、出土品を高解像度の写真でご覧いただくことができます。

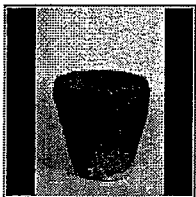
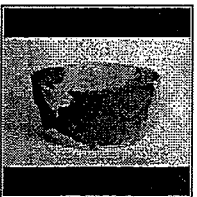
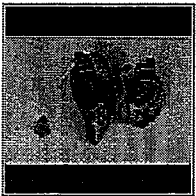
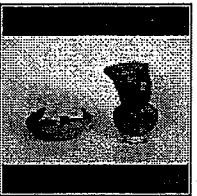
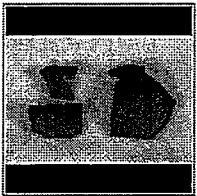
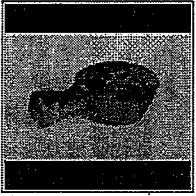
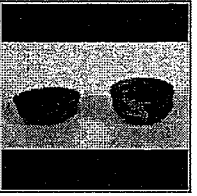
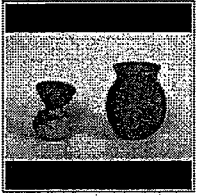
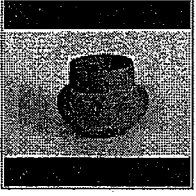
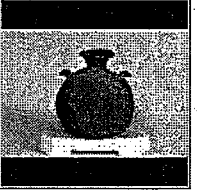
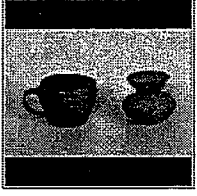
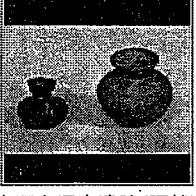
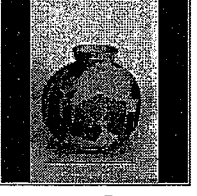
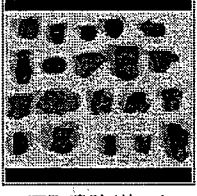
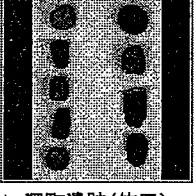
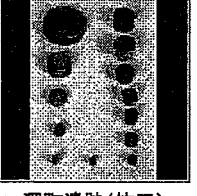
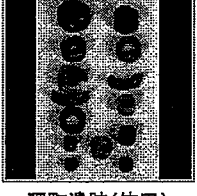


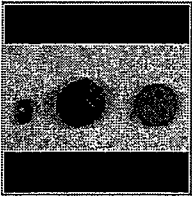
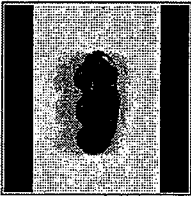
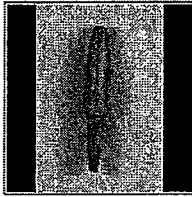
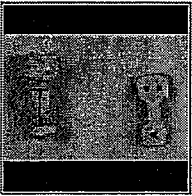
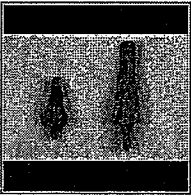
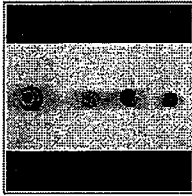
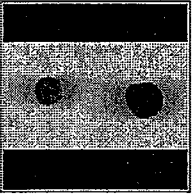
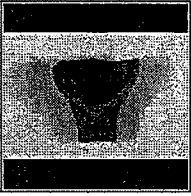
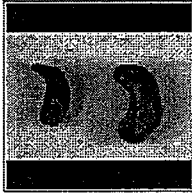
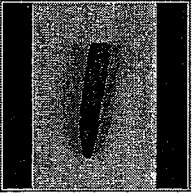
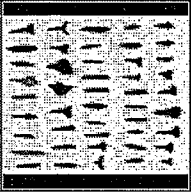
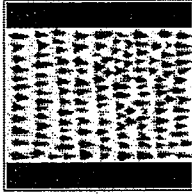
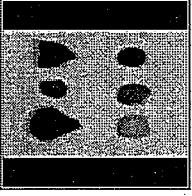
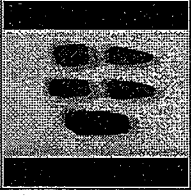
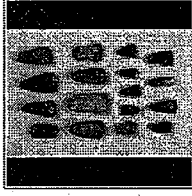
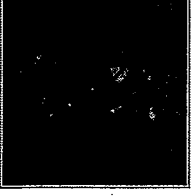
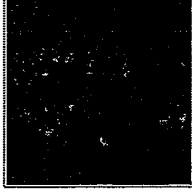
このページの写真を拡大表示するためには、お使いのパソコンにAdobe Flash Playerがインストールされている必要があります。写真が正しく表示されない場合は、最新のAdobe Flash Playerをインストールしてください。

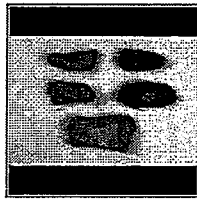
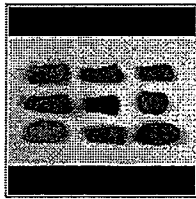
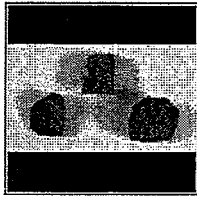
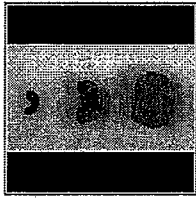
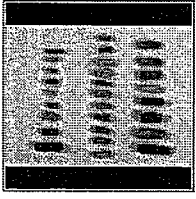
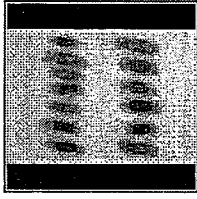
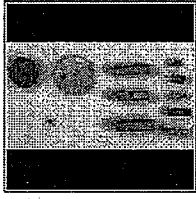
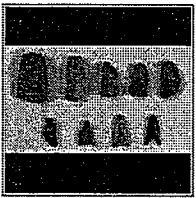
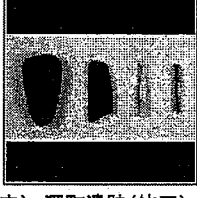
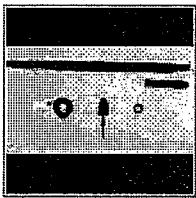
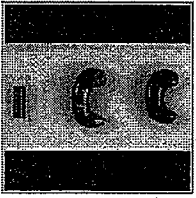
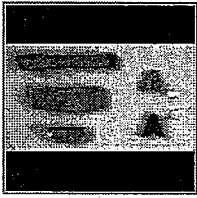
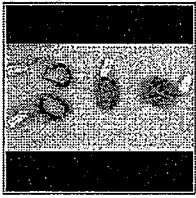
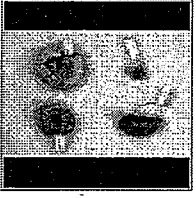
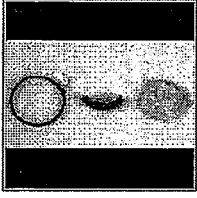
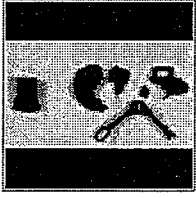
内耳土器と人骨	古瀬戸灰釉四耳壺(骨磁器)	古瀬戸灰釉水柱 鎌倉時代
		
寺開土遺跡(腰越)	寺開土遺跡(腰越)	寺開土遺跡(腰越)
灰釉おろし皿、坏(かわらけ)、灰釉仏花瓶	壺(土師器)	丸瓦、軒丸瓦、軒丸瓦
		
深町遺跡(依田)、寺開土遺跡(腰越)、深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	丸子町諏訪田遺跡、丸子町深町遺跡、丸子町大狭間遺跡
軒平瓦、土甕	磨石、敲石	長胴壺(土師器)
		
丸子町諏訪田遺跡、深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	中城南遺跡(依田)
女瓦、羽口	女瓦	坏、皿(土師器)、平安緑釉皿
		
深町遺跡(依田)	諏訪田遺跡(依田)	中城南遺跡、深町遺跡(依田)、深町遺跡(依田)
土製丸玉	壺(灰釉陶器)、甗	平安緑釉皿、鉢(土師器)

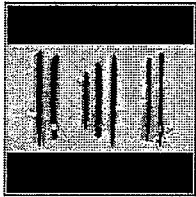
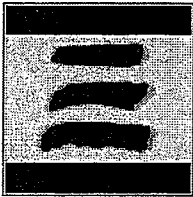
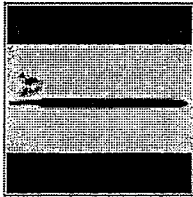
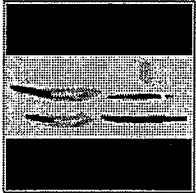
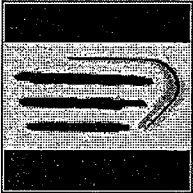
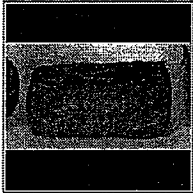
深町遺跡(依田)	諏訪田遺跡、深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)
碗(灰釉陶器)、碗(灰釉陶器)	灰釉段皿、灰釉段皿	耳皿(土師器)、耳皿(灰釉陶器)、碗(灰釉陶器)
諏訪田遺跡(依田)、深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	諏訪田遺跡(依田)
坏蓋(須恵器)、坏蓋(須恵器)、円面硯(須恵器)	盤(須恵器)、坏(須恵器)	不明
諏訪田遺跡(依田)	諏訪田遺跡(依田)	不明
長胴壺(土師器)	甔(土師器)	小型甔(土師器)、壺(土師器)、小型甔形土器(土師器)
井戸下遺跡(塩川)	井戸下遺跡(塩川)	井戸下遺跡(塩川)、井戸下遺跡(塩川)、井戸下遺跡(塩川)
甔(土師器)	壺(土師器)	甔(土師器)
宮原遺跡(長瀬)	宮原遺跡(長瀬)	宮原遺跡(長瀬)
長頸壺(土師器)、小型甔(土師器)	坏(須恵器)、短頸壺(須恵器)、坏蓋(須恵器)	高坏(須恵器)、坏(須恵器)、高杯(須恵器)
宮原遺跡(長瀬)、宮原遺跡(長瀬)	社軍神遺跡(依田)	社軍神遺跡(依田)
横瓶(須恵器)	甔(土師器)	長胴壺(土師器)、甔(須恵器)、高坏(土師器)

		
社軍神遺跡(依田)	社軍神遺跡(依田)	社軍神遺跡(依田)
壺(土師器)	土師器	土師器
		
oo遺跡(塩川)	社軍遺跡(古墳時代前期)	社軍神遺跡(古墳時代前期)
平砥石、内磨砥石、筋砥石	土偶形容器(複製品)、土偶形容器(複製品)	土偶形容器(複製品)
		
社軍神遺跡(依田)	測の上遺跡(上田市腰越)	測の上遺跡(上田市腰越)
土偶形容器(複製品)後ろ姿	深鉢形土器	ミニチュア土器、ミニチュア土器、ミニチュア土器、三角ヤX土製品
		
測の上遺跡(上田市腰越)	下久根遺跡(東内)	深町遺跡(依田)
土鈴、石冠、石冠、石冠	石剣、石刀、石棒	埋壺
		
深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)
埋壺	深鉢形土器	埋壺
		
深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)
埋壺	埋壺	尖底土器片

		
西畑遺跡(東内)	中丸子遺跡(中期後半)	平井寺坂下遺跡(東内)
アケボノソウの化石	須恵器杯、須恵器はそう	須恵器器代
		
塩沢川上流	井戸下遺跡出土 6世紀	井戸下遺跡出土 6世紀
須恵器碗	土師器杯、土師器杯	はそう(土師器)、壺(土師器)
		
勝負沢(長瀬)出土 7世紀中葉	井戸遺跡(塩川)出土 6世紀	池の平古墳(東内)
短頸甕(須恵器)	提瓶(須恵器)	把手觶(須恵器)、はそう(須恵器)
		
池の平古墳(東内)	池の平古墳(東内)	鳥羽山洞窟遺跡(腰越)
二重ばそう(須恵器)、壺(須恵器)	不明	土偶
		
鳥羽山洞窟遺跡(腰越)	不明	深町遺跡(依田)
石鏝	土製耳飾(臼形)	土製耳飾(滑車形)
		
深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)	深町遺跡(依田)
垂飾り	石製勾玉	牙製管

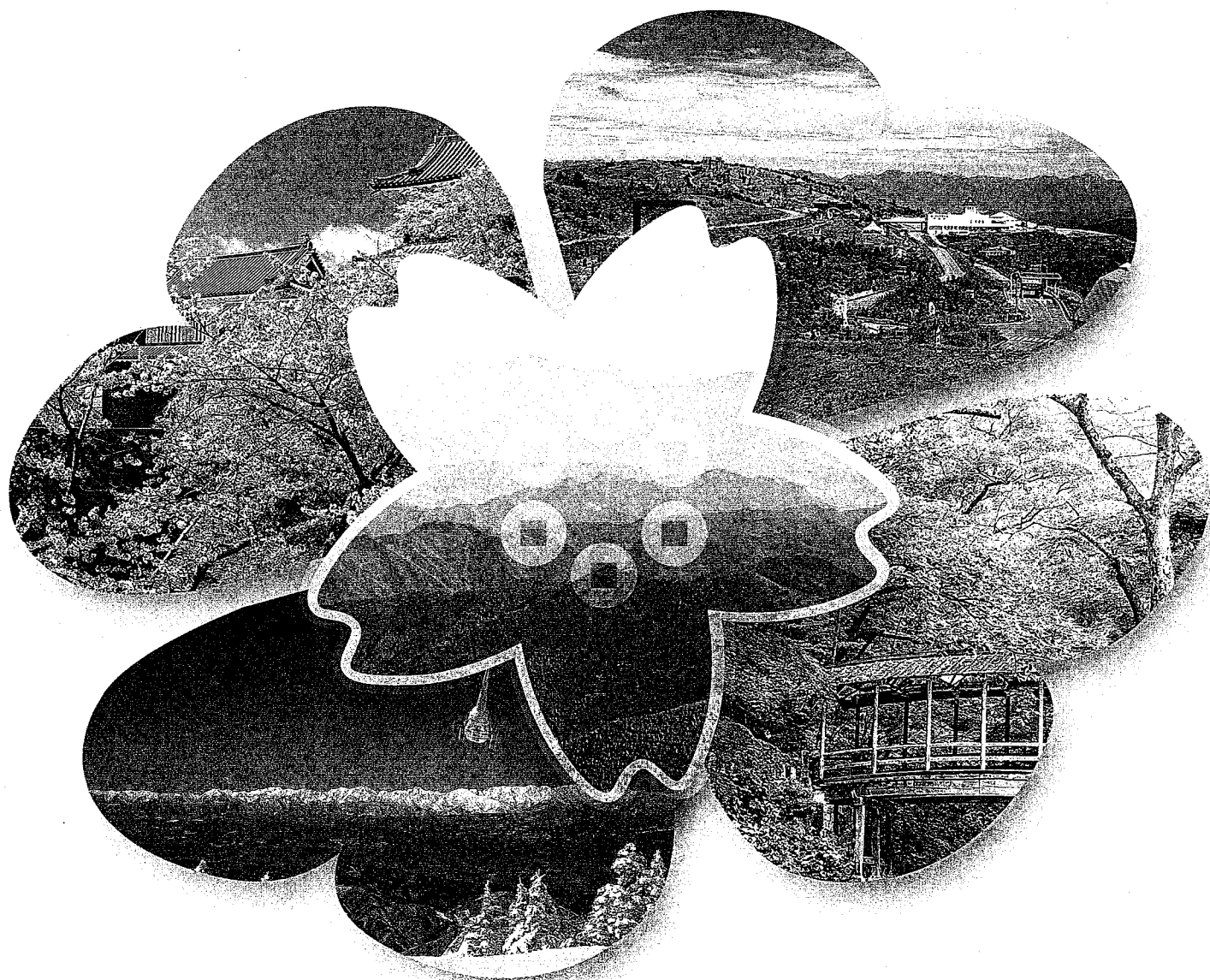
		
猪牙製装身具	鹿角製儀	白玉
		
土製丸玉	さじ形土製器	土製勾玉
		
剣形土製品	石鏃	石鏃
		
不明	磨製石斧	磨製石斧
		
彫刻器、男女倉型彫刻器	ナイフ形石器、尖頭器	そう器、石刀
		
男女倉B遺跡(長和町教委寄託)	男女倉B遺跡(長和町教委寄託)	男女倉B遺跡(長和町教委寄託)
石核	打製石斧	打製石斧

		
男女倉B遺跡 (長和町教委寄託)	深町遺跡 (依田)	深町遺跡 (依田)
荒割工程	緑色凝灰岩 (グリーン・タフ)	勾玉未完成品
		
社軍神遺跡 (依田)	社軍神遺跡 (依田)	社軍神遺跡 (依田)
管玉研磨工程、管玉側面打裂工程	管玉片割工程	訪鉢社、小玉、管玉穿孔工程
		
社軍神遺跡 (依田)	社軍神遺跡 (依田)	社軍神遺跡 (依田)
管玉鉄形石製品未完成品	軽石製垂飾り、玉べら、鹿角製箸状製品、黒曜石箸状製品	大刀、銅、鉄鏃、環
		
社軍神遺跡 (依田)	西畑遺跡 (東内)、深町遺跡 (依田)、深町遺跡 (依田)、深町遺跡 (依田)	池の平古墳 (東内)
管玉、勾玉	砥石、琴柱形石製品	滑石製小玉、滑石製勾玉、鹿角製鳴鏑
		
池の平古墳 (東内)	鳥羽山洞窟遺跡 (腰越)	鳥羽山洞窟遺跡 (腰越)
鹿角製紡錘車	銅鏃、石鏃、貝殻 (ハマグリ)	鉄斧、馬具 (轡)
		
鳥羽山洞窟遺跡 (腰越)	鳥羽山洞窟遺跡 (腰越)	鳥羽山洞窟遺跡 (腰越)
きさげ	鉄鏃	装刀子

		
鳥羽山洞窟遺跡(腰越)	鳥羽山洞窟遺跡(腰越)	鳥羽山洞窟遺跡(腰越)
鹿角装刀子、刀子	鉄剣	工作台
		
鳥羽山洞窟遺跡(腰越)	鳥羽山洞窟遺跡(腰越)	社軍神遺跡(依田)
深鉢形土器		
		
下久根遺跡(東内)		

日本のまん中 人がまん中 生活快適都市

～水跳ね 緑かがやき 空 ころろ 晴れわたるまち～



第一次上田市総合計画

ダイジェスト版

上 田 市

基本構想

まちづくりの基本理念

【将来像～キャッチフレーズ～】

日本のまん中 人がまん中 生活快適都市

～水跳ね 緑かがやき 空 ころろ 晴れわたるまち～

【基本理念】

～将来像の実現に向けて
まちづくりに取り組む際の基本的な考え方～

自立と協働

循環と交流

創造と調和

まちの未来イメージ

～おおむね10年後の上田市のあるべき姿～

社会環境の活性化と
自立の促進を図るまち

豊かな自然に包まれ
人々が住みやすいまち

上田市に誇りや
達成感が伝わるまち

これからの基本課題

- ① 厳しい社会状況を克服していくための課題 【改善・解決要素】
- ② 上田市の良さを更に伸ばしていくための課題 【成長要素】
- ③ 生活環境や地域社会の維持・向上のための課題 【維持・向上要素】

時代の潮流

市民意見

上田市の概況

コミュニティ・自治

～認め合い 自ら動き個性きわだつ～

産業・経済

～知恵集め 技術磨き未来ひらく～

自然・文化

～水跳ね 緑かがやき文化はぐくむ～

生活環境

～生活快適 住んでよかった～

健康・福祉

～支え合い 健やかに 女男いきいき～

教育

～学び 育ち 人かがやく～

土地利用構想

前期基本計画

編	重点的な取組	章	節
第1編	①さまざまなコミュニティの活性化と多様な交流の促進 ②住民自治・分権自治形成を目指した市民協働によるまちづくり ③行政経営への転換	①コミュニティの活性化のために ②分権自治を確立するために	①コミュニティを活性化させ住民相互の交流を深める ②住民主導の自治活動を発展させる ③外国籍市民を支援し多文化共生社会を目指す ④地域自治センターを基盤に地域内分権を推進する ⑤機敏に対応できる効率的な行政組織にする ⑥市民と行政の情報が結ばれる社会を実現する ⑦広域行政と隣接市町村連携を推進する
第2編	①地産地消の推進と安全・安心な食の提供 ②上田市の“ファン”づくりと中心市街地の活性化 ③知的創造拠点の活用と新分野に挑戦する環境の整備	①地域経済を活性化するために ②新産業・新技術の開発を促進するために	①豊かな恵みをもたらす農林水産業を支える ②工業基盤を整備し企業を支援する ③観光と商業において上田市のファンを増やす ④安心して働くことができる環境をつくる ⑤新分野へ挑戦する企業・人材を育成する ⑥産学官や企業間の連携を進める
第3編	①自然環境の保全と活用 ②歴史的・文化的遺産の継承 ③未来へつながる市民文化の創造	①自然との共生のために ②新たな文化を創造していくために	①緑あふれる森林・里山や清らかな水が流れる河川を守る ②自然との共生に向けて主体的に取り組む人材を育成する ③郷土史を継承し、「わたしのまち」への愛着を深める ④新しい時代に向けた文化活動を創造する
第4編	①資源循環型社会の構築 ②安全・安心で快適な生活環境の実現 ③円滑な交流促進を図る交通体系の実現	①快適な生活環境を実現するために ②軽快な交通網を形成するために	①廃棄物の削減に向けた資源循環型社会を構築する ②安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する ③地域特性を生かす秩序ある土地利用を促進する ④市内外の交流を円滑に進める ⑤人や自然にやさしい交通体系を実現する ⑥公共交通機関の利用を促進する
第5編	①病気予防への取組と医療提供体制の確立 ②安心して子育てができる環境整備 ③高齢者や障害者がいきいきとした生活を送れる体制づくり ④人権の尊重と男女共同参画の推進	①生涯を通じた健康づくりを促進するために ②“ひと”と“ひと”が支え合う社会をつくるために	①健やかなライフスタイルを形成する ②安心して医療サービスが受けられる環境をつくる ③子育てをみんなで支えていく ④高齢者が充実した生活を送れる仕組みを整える ⑤障害者が自立した生活を送れる体制をつくる ⑥一人ひとりの人権が尊重される社会を実現する ⑦社会保障制度を支える ⑧ともに支え合う地域福祉の推進を図る
第6編	①「生きる力」をはぐくむ教育と地域ぐるみでの子ども育成 ②小・中学校の教育環境の整備 ③生涯学習の推進とスポーツ活動拠点づくり	①まちの未来を担う子どもたちの育成のために ②生涯学習と人材開発を促進するために	①まちの未来を担う子どもたちを育成する ②高度化・多様化した学習機会を創出する ③専門的な能力をまちづくりの発展に生かす ④地域スポーツを活発にする

地域まちづくり方針

「地域まちづくり方針」は、上田市総合計画の一部として、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示すものです。

上田西部地域

- ①歴史的遺産の積極的な活用による地域の振興
- ②地域が誇れる自然環境の保全と有効活用
- ③地域防犯力による安全で快適なまちづくり
- ④多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり
- ⑤世代間交流が活発に行われ、コミュニティの確立を目指すまちづくり
- ⑥地域が一体となり高齢者や障害者を支え、だれもが安心して暮らせるまちづくり
- ⑦地域の特色を生かした産業の振興

上田城南地域

- ①まちづくり活動拠点の整備
- ②「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり
- ③人や自然にやさしい交通機能の整備
- ④地域医療体制と保健福祉施設の整備
- ⑤地域で子どもを育てるまちづくり
- ⑥自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全
- ⑦歴史的・地域的資源の保全と活用

川西地域

- ①地域自治センターの早期建設
- ②自然保護活動の推進
- ③住む人にやさしく快適な環境づくり
- ④農業を主体とした産業振興
- ⑤地域ぐるみでの子育て支援の推進
- ⑥交流・体験を中心に据えた地域興しの展開
- ⑦災害に強いまちづくりの推進

塩田地域

- ①地域コミュニティ施設の整備
- ②地域特性を生かした観光の推進
- ③緑農ゾーンの整備促進
- ④大学・研究施設と地域社会の交流の促進
- ⑤計画的な土地利用の推進
- ⑥健康で明るい生活を営むまちづくり
- ⑦安心・安全で快適な生活環境の実現

武石地域

- ①住みよい地域づくりの推進と地域情報化の展開
- ②地域をつなぐ道路交通網の整備
- ③魅力ある農林業の創出と商工業の振興
- ④都市・農村交流と広域的な観光の展開
- ⑤地域に根ざした医療・保健・福祉・介護の充実
- ⑥地域の特性を生かした教育の推進とスポーツの振興
- ⑦明日を担う子どもたちの教育施設、子育て支援施設の整備

真田地域

- ①創意と工夫の地域づくりの推進
- ②地域情報化の推進
- ③魅力ある農業の推進
- ④特色ある観光の振興
- ⑤地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備
- ⑥安心して暮らせる地域づくり
- ⑦地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進

神科・豊殿地域

- ①地域の交通ネットワークの整備促進
- ②地域の公共交通と、将来に向けた地域循環バス等新たな地域内交通の充実
- ③地域に根ざした医療・福祉の充実と地域内ボランティア活動の充実
- ④神川河川流域の保全整備
- ⑤地域の子どもの安全と育成活動の充実
- ⑥地域の農業振興と地域内の財産・資源の活用
- ⑦地域づくりの拠点としての自治センターの大規模改修

上田中央地域

- ①新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化
- ②歴史的な資源を保全・活用したまちづくり
- ③市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり
- ④自然環境の保全と共生によるまちづくり
- ⑤保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用
- ⑥地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり
- ⑦産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興

丸子地域

- ①軽快な交通ネットワークの整備
- ②健康×観光×自然＝交流人口の拡大
- ③新たな産業ブランドの創出
- ④生涯学習活動拠点の充実と新図書館の整備
- ⑤可能性を秘めた雇用・居住・福祉の拠点整備
- ⑥未来型産業の振興と起業マインドの育成
- ⑦自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり

●はじめに●

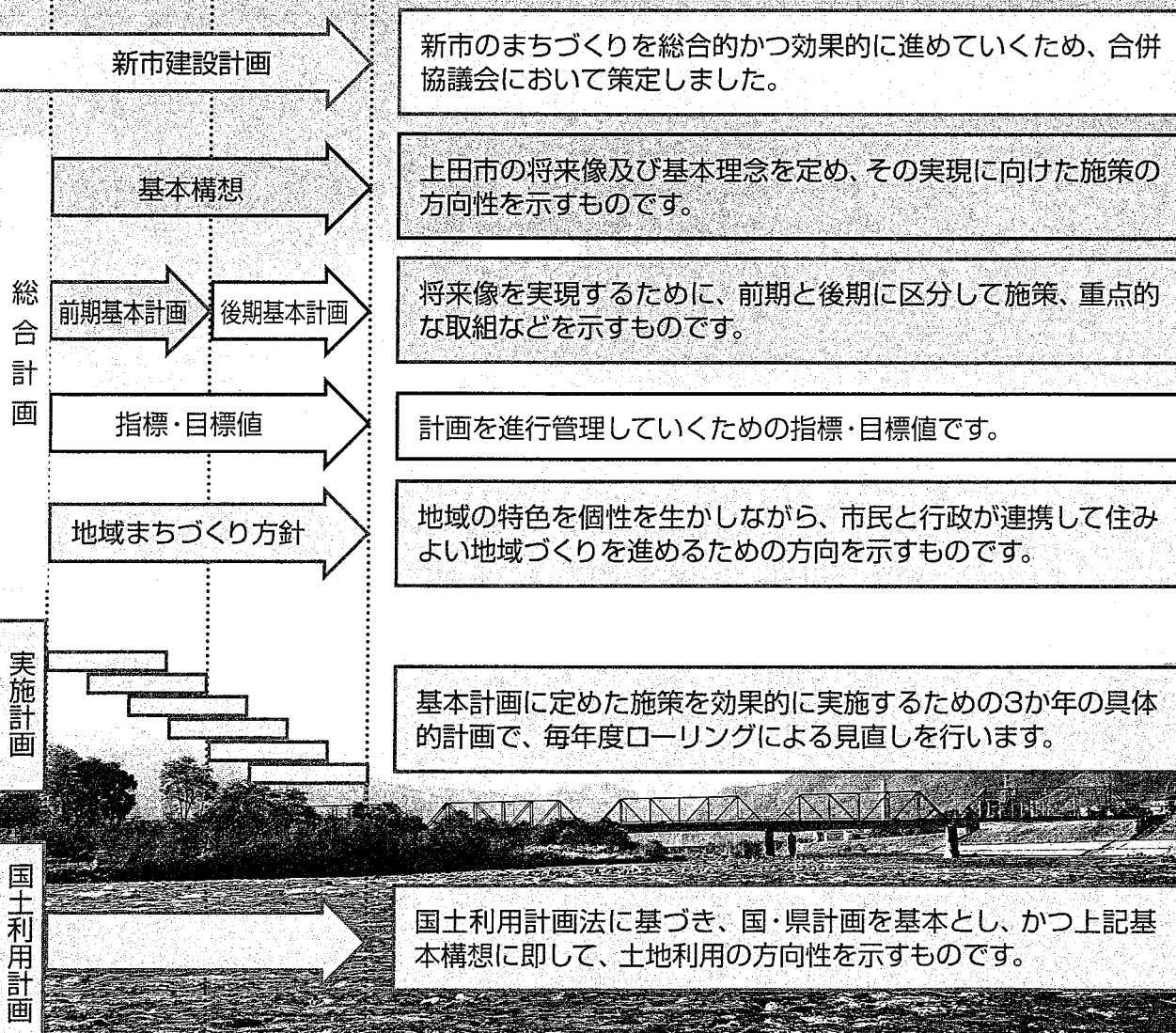
平成18年3月6日、当時の上田市、丸子町、真田町、武石村が新設対等合併して、「新生上田市」が誕生しました。

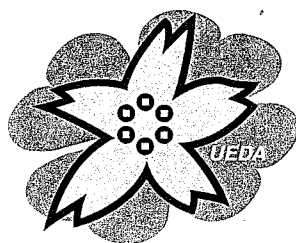
第一次総合計画となる本計画は、新市建設計画の考え方や方針を踏まえるとともに、時代の潮流や市民意見を反映させながら、新生上田市における一体性の速やかな確立と、継続的な発展を目指して、次の考え方にに基づき策定しました。

- 新市建設計画(将来像・理念等)を尊重
- 分権型合併の趣旨を計画策定の中で実現【地域まちづくり方針の策定】
- 施策重点化のための「重点的な取組」を設定
- 計画の進行管理のための指標・目標値を設定

●総合計画の構成と計画期間●

平成17年度 平成20年度 平成23年度 平成27年度





上田市総合計画 ダイジェスト版

(平成19年12月発行)

(第2版22年8月発行)

発行・編集／上田市政策企画局政策企画課

〒386-8601

長野県上田市大手一丁目11番16号

TEL.0268-22-4100(代表)

FAX.0268-25-4100

上田市ホームページ

<http://www.city.ueda.nagano.jp>

※なお、上田市総合計画の計画書については、市役所及び各地域自治センター等にて閲覧可能です。

	氏 名	自治会名	選出団体等
8	サイトウジュウイチロウ 斉藤重一郎	西 内	個人依頼
5	キクムラ ヨノミ 北村 好美	南 方	公募

第一分散会

4	ウチダ ヒロコ 内田 弘子	腰 越	丸子ボランティア連絡協議会
10	シミズ ミヅエ 清水 三枝	御嶽堂	丸子地域消費者の会
15	マツヤマ ノリコ 松山 慶子	中丸子	公募
20	ヨコヤマ トモミ 横山 智美	腰 越	手をつなぐ育成会
2	イケウチ コウイチ 池内 孝一	上長瀬	長瀬地区自治会連合会
7	コウサカ コウジ 上坂 耕司	荻 窪	内村地区自治会連合会
11	セキ トモヤス 関 與康	狐 塚	塩川地区自治会連合会
1	イクタ ジュンイチ 生田 淳一	西 内	丸子町商工会
14	ナリサワ ケイスケ 成澤 啓輔	中丸子	個人依頼

第二分散会

6	クラサワ フミコ 倉沢 史子	中丸子	個人依頼
13	ナカザワ 中澤ゆかる	八日町	丸子地域PTA連合会
16	マルヤマ 丸山かず子	下和子	丸子女性団体連絡協議会
3	ウエハラ マサシ 上原 正志	八日町	丸子第一自治会連合会
9	サトウ セイイチ 佐藤 誠一	中丸子	丸子第二自治会連合会
19	ヤマコシ ケンジ 山越 健二	茂 沢	依田地区自治会連合会
12	クキザワ ヨシノリ 滝澤 芳則	南 方	依田窪地域連絡協議会
17	ミヤシタ マサアキ 宮下 正明	下長瀬	丸子工業振興会
18	ムラマツ マサタカ 村松 正孝	下長瀬	個人依頼